

10年で10倍近く伸びたアイスクリームの輸出額

2024年8月30日

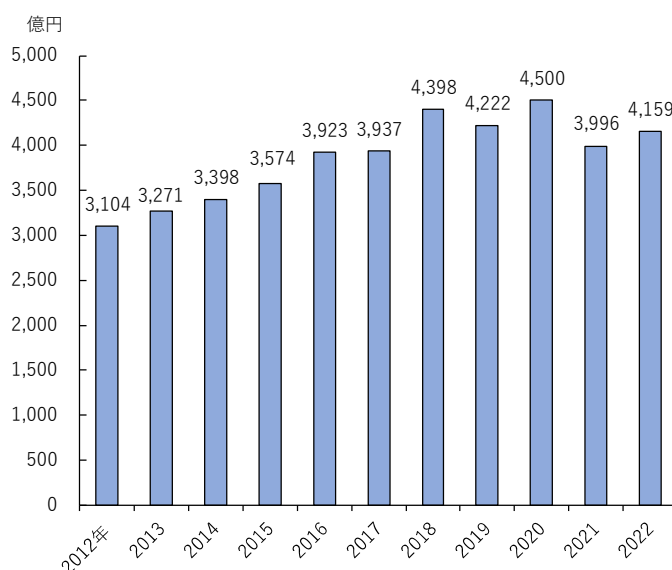
調査部 上席主任研究員 遠藤 裕基

アイスクリームの出荷額は10年で34%増加（金額では1,054億円の増加）

酷暑も落ち着きつつあるが、まだまだ暑い日が続いており、引き続きアイスを楽しめる状況である（皆様、残暑お見舞い申し上げます）。そこで今回はアイスクリームに関連する統計を確認してみた。まず、アイスクリームの出荷額である。2024年7月26日に総務省・経済産業省「経済構造実態調査」（2023年調査）の二次集計結果（製造業事業所調査）が公表されたため、これを用いて出荷額を確認する。なお、経済構造実態調査で公表される経理項目（出荷額など）は調査年の前年の数値である点に注意を要する。2023年調査の場合、2022年年間の数値となる。

2022年のアイスクリームの出荷額は4,159億円で10年前の2012年と比べて34%の増加（金額では1,054億円の増加）となっている¹（図表1）。

図表1 アイスクリームの出荷額



注：詳細は脚注1参照。

出所：経済産業省「工業統計」、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査」

¹ 2012年の数値は経済産業省「工業統計」の数値である。工業統計は2020年調査を最後に廃止となり、同内容の調査は、2021年分（経理項目は2020年分）が「令和3年経済センサス活動調査」で、2022、2023年分（経理項目は2021、2022年分）が「経済構造実態調査」で行われている（今後も経済センサス活動調査以外の年は経済構造実態調査での把握となる）。また、経済構造実態調査の結果が全事業所ベースであるのに対して、工業統計は従業者4人以上事業所の結果である点にも注意を要する（経済センサス活動調査ではどちらの集計もある）。他にも個人経営の結果を含む、含まないといった注意点もある。なお、図表1は、下記の表の通りの数値を掲載している。

図表1の出荷額の	2012～2014年	2015年	2016～2019年	2020年	2021～2022年
説明	工業統計	経済センサス	工業統計	経済センサス	経済構造実態調査
事業所規模	従業者4人以上	全事業所	従業者4人以上	全事業所	全事業所
個人経営	含む	含む	含む	含まない	含まない

なお、直近のピークは2020年の4,500億円である。この年はコロナ禍で「巣ごもり消費」が盛り上がるなどの特殊要因が影響したと考えられる。

アイスクリームの出荷額 1 位は埼玉県、2 位は群馬県

さて、2022年の出荷額を都道府県別にみると、最も金額が大きいのが埼玉県の942.6億円、次いで群馬県（597.3億円）、静岡県（311.2億円）、滋賀県（234.7億円）、福岡県（222.2億円）の順番となっている（図表2）。言うまでもなく、規模の大きい消費地、あるいはその近隣の県が上位にきている。特に関東では、埼玉県と群馬県がアイスクリームの一大供給地であることが分かる。埼玉県ではロッテや赤城乳業などの工場が、群馬県ではハーゲンダッツジャパン、明治、タカナシ乳業などの工場が有名である。

伸びるアイスクリーム輸出

最後にアイスクリームの輸出についてみておこう。財務省「貿易統計」によると、2023年のアイスクリーム（品目コード：2105.00-000）の輸出は数量ベースで1万138トン、金額ベースで79.7億円となった（図表3、次ページ）。10年前の2013年と比べると、数量では6.3倍、金額では9.3倍となっている。金額の伸びが大きいのは円安の影響などもあると考えられる。

さらに2023年の輸出先をみると、最も数量が多いのが台湾となり、次いで香港、中国、米国、シンガポールの順番となっている。ここ10年はアジア向けのアイスクリーム輸出が大きく伸びている。わが国においてインバウンドが拡大する中、多くのアジアからの観光客が来日時にアイスクリームを

図表2 都道府県別アイスクリームの出荷額

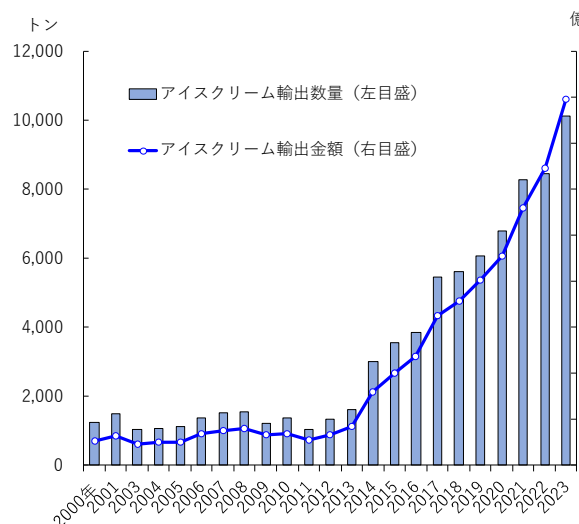
順位	都道府県	出荷額（億円） 2022年	算出事業所数 2023年6月1日時点
1	埼玉県	942.6	9
2	群馬県	597.3	13
3	静岡県	311.2	8
4	滋賀県	234.7	4
5	福岡県	222.2	12
6	愛知県	206.0	10
7	大阪府	199.9	6
8	茨城県	145.7	5
9	三重県	140.7	7
10	奈良県	117.4	3
11	兵庫県	103.2	7
12	神奈川県	101.0	7
13	佐賀県	100.6	3
14	栃木県	96.4	4
15	岡山県	90.5	5
16	愛媛県	78.3	3
17	北海道	64.6	44
18	岩手県	37.0	18
19	新潟県	36.5	9
20	福島県	34.9	6
21	鹿児島県	30.1	3
22	長野県	29.7	7
23	山梨県	28.1	3
24	高知県	16.2	7
25	沖縄県	16.0	6
26	岐阜県	14.9	4
27	京都府	8.5	4
28	千葉県	7.8	7
29	東京都	7.6	9
30	熊本県	6.3	5
31	宮城県	2.9	3
32	島根県	1.3	5
33	宮崎県	0.9	6
34	山形県	0.6	5
35	青森県	0.1	4
36	大分県	0.04	4
-	秋田県	秘匿	2
-	富山県	秘匿	2
-	石川県	秘匿	2
-	和歌山県	秘匿	2
-	鳥取県	秘匿	1
-	広島県	秘匿	2
-	山口県	秘匿	1
-	香川県	秘匿	1
-	長崎県	秘匿	1
-	福井県	数値なし	数値なし
-	徳島県	数値なし	数値なし

注：集計対象となる事業所が1または2の場合、結果をそのまま掲載すると報告者の情報が漏れる恐れがあるため、一部の県については数値が秘匿扱いとなっている。

出所：総務省・経済産業省「経済構造実態調査」

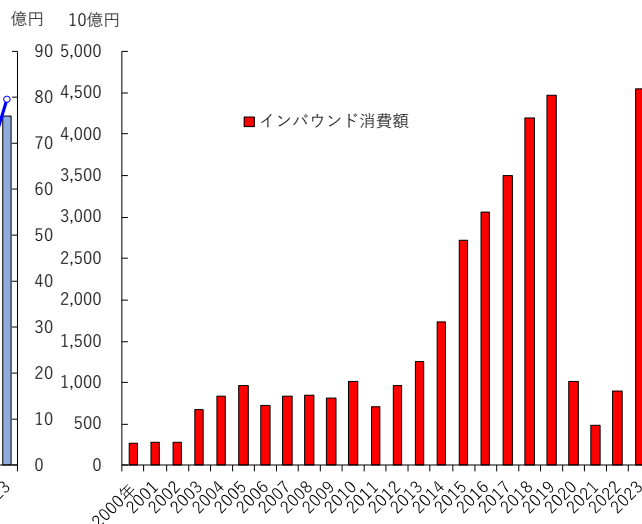
食し、帰国後も購入を続けている可能性などが考えられる（図表4）。こうした点も先に紹介したアイスクリーム出荷額増加の一因とみられる。

図表3 10年でアイスの輸出が急拡大



出所：財務省「貿易統計」

図表4 インバウンド消費額も2010年代に急増



注：インバウンド消費額は「非居住者家計の国内での直接購入」。

出所：内閣府「四半期別GDP速報」

執筆者紹介



遠藤 裕基（えんどう ゆうき）

浜銀総合研究所 調査部 上席主任研究員

神奈川県経済及び労働・雇用関連の調査業務を担当。

浜銀総合研究所では、景気動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5

本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取り扱いいただきますようお願いいたします。